

6. 次の等式が x, y についての恒等式となるように, 定数 a, b の値を定めよ。

$$x^2+y^2=a(x+y)^2+b(x-y)^2$$

7. 等式 $(a^2+1)x+(a^2+2a)y-2a+1=0$ が, どんな a の値に対しても成り立つように, x, y の値を定めよ。

8. $a:b:c=2:3:4$ のとき $\frac{ab+bc+ca}{a^2+b^2+c^2}$ の値を求めよ。

9. $a>0, b>0$ のとき, 次の不等式を証明せよ。 $2\sqrt{a}+\sqrt{b}>\sqrt{4a+b}$

10. 次の不等式を証明せよ。また, 等号が成り立つのはどのようなときか。

$$x^2+y^2\geq 2(x+y-1)$$

11. $a>0, b>0$ のとき, 次の不等式を証明せよ。 $\frac{b}{3a}+\frac{12a}{b}\geq 4$

1. 次の計算をせよ。

(1) $\frac{x^2-8x-20}{3x^2+5x-2} \times \frac{3x^2-31x+10}{x^3-2x^2-80x}$ (2) $\frac{x^2-2x}{x^2-x-12} \div \frac{x^2-4}{x^2+5x+6}$

【解答】 (1) $\frac{x-10}{x(x+8)}$ (2) $\frac{x}{x-4}$

【解説】

(1) (与式) $= \frac{(x+2)(x-10)}{(x+2)(3x-1)} \times \frac{(x-10)(3x-1)}{x(x+8)(x-10)} = \frac{x-10}{x(x+8)}$
(2) (与式) $= \frac{x^2-2x}{x^2-x-12} \times \frac{x^2+5x+6}{x^2-4} = \frac{x(x-2)}{(x+3)(x-4)} \times \frac{(x+2)(x+3)}{(x+2)(x-2)} = \frac{x}{x-4}$

2. 次の式を簡単にせよ。

(1) $\frac{\frac{1}{1-x} + \frac{1}{1+x}}{\frac{1}{1-x} - \frac{1}{1+x}}$ (2) $1 - \frac{1}{1 - \frac{1}{1-x}}$

【解答】 (1) $\frac{1}{x}$ (2) $\frac{1}{x}$

【解説】

(1) 分子、分母をそれぞれ先に通分してしまう。そして、 $\frac{\text{分子}}{\text{分母}}$ を分子÷分母と書きなおす。

(与式) $= \frac{\frac{1+x+1-x}{(1-x)(1+x)}}{\frac{1+x-(1-x)}{(1-x)(1+x)}} = \frac{\frac{2}{(1-x)(1+x)}}{\frac{2x}{(1-x)(1+x)}} = \frac{2}{(1-x)(1+x)} \div \frac{2x}{(1-x)(1+x)}$
 $= \frac{2}{(1-x)(1+x)} \times \frac{(1-x)(1+x)}{2x} = \frac{1}{x}$

【別解】 分子分母に $(1-x)(1+x)$ をかけると、分子も分母も分数の形を回避できる。

(与式) $= \frac{(1-x)(1+x)\left(\frac{1}{1-x} + \frac{1}{1+x}\right)}{(1-x)(1+x)\left(\frac{1}{1-x} - \frac{1}{1+x}\right)} = \frac{1+x+1-x}{1+x-(1-x)} = \frac{1}{x}$

(2) (与式) $= 1 - \frac{1}{\frac{1-x-1}{1-x}} = 1 - \frac{1}{\frac{x}{x-1}} = 1 - \frac{x-1}{x} = \frac{x-(x-1)}{x} = \frac{1}{x}$

【参考】 $\frac{1}{\frac{x}{x-1}}$ は $\frac{1}{\frac{x}{x-1}} = 1 \div \frac{x}{x-1} = 1 \times \frac{x-1}{x} = \frac{x-1}{x}$ となる

3. 次の計算をせよ。

(1) $\frac{x}{x+1} - \frac{1}{x+2}$ (2) $\frac{1}{x^2+3x+2} + \frac{1}{x^2+5x+6}$

(3) $\frac{4}{x^2+2x-8} - \frac{5}{x^2+3x-10}$ (4) $\frac{x-1}{x^2+3x+2} - \frac{x-3}{x^2+4x+3}$

【解答】 (1) $\frac{x^2+x-1}{(x+1)(x+2)}$ (2) $\frac{2}{(x+1)(x+3)}$

(3) $-\frac{x}{(x-2)(x+4)(x+5)}$ (4) $\frac{3}{(x+2)(x+3)}$

【解説】

(1) (与式) $= \frac{x(x+2)}{(x+1)(x+2)} - \frac{x+1}{(x+1)(x+2)} = \frac{x(x+2)-(x+1)}{(x+1)(x+2)} = \frac{x^2+x-1}{(x+1)(x+2)}$

(2) (与式) $= \frac{1}{(x+1)(x+2)} + \frac{1}{(x+2)(x+3)}$
 $= \frac{x+3}{(x+1)(x+2)(x+3)} + \frac{x+1}{(x+1)(x+2)(x+3)}$
 $= \frac{2(x+2)}{(x+1)(x+2)(x+3)} = \frac{2}{(x+1)(x+3)}$

(3) (与式) $= \frac{4}{(x-2)(x+4)} - \frac{5}{(x-2)(x+5)}$
 $= \frac{4(x+5)}{(x-2)(x+4)(x+5)} - \frac{5(x+4)}{(x-2)(x+4)(x+5)}$
 $= \frac{4(x+5)-5(x+4)}{(x-2)(x+4)(x+5)} = -\frac{x}{(x-2)(x+4)(x+5)}$

(4) (与式) $= \frac{x-1}{(x+1)(x+2)} - \frac{x-3}{(x+1)(x+3)}$
 $= \frac{(x-1)(x+3)}{(x+1)(x+2)(x+3)} - \frac{(x-3)(x+2)}{(x+1)(x+2)(x+3)}$
 $= \frac{(x-1)(x+3)-(x-3)(x+2)}{(x+1)(x+2)(x+3)} = \frac{3(x+1)}{(x+1)(x+2)(x+3)}$
 $= \frac{3}{(x+2)(x+3)}$

4. 次の等式が x についての恒等式であるとき、定数 a, b, c, d の値を求めよ。

(1) $(x^2-4x+a)(x+5)=(x-1)(x^2+bx+c)$
(2) $x^3=a(x+1)^3+b(x+1)^2+c(x+1)+d$

【解答】 (1) $a=3, b=2, c=-15$ (2) $a=1, b=-3, c=3, d=-1$

【解説】

(1) 等式の両辺を x について整理すると

$$x^3+x^2+(a-20)x+5a=x^3+(b-1)x^2+(-b+c)x-c$$

両辺の同じ次数の項の係数が等しいから

$$1=b-1, a-20=-b+c, 5a=-c$$

これを解いて $a=3, b=2, c=-15$

(2) 等式の右边を x について整理すると

$$x^3=ax^3+(3a+b)x^2+(3a+2b+c)x+a+b+c+d$$

両辺の同じ次数の項の係数が等しいから

$$1=a, 0=3a+b, 0=3a+2b+c, 0=a+b+c+d$$

これを解いて $a=1, b=-3, c=3, d=-1$

5. 次の等式が x についての恒等式であるとき、定数 a, b の値を求めよ。

$$\frac{a}{x+2} + \frac{b}{3x-1} = \frac{3x-8}{3x^2+5x-2}$$

【解答】 $a=2, b=-3$

【解説】

$3x^2+5x-2=(x+2)(3x-1)$ であるから、等式の両辺に $(x+2)(3x-1)$ をかけると、次の等式が得られる。

$$a(3x-1)+b(x+2)=3x-8$$

左辺を x について整理すると $(3a+b)x-a+2b=3x-8$

両辺の同じ次数の項の係数が等しいから $3a+b=3, -a+2b=-8$

これを解いて $a=2, b=-3$

6. 次の等式が x, y についての恒等式となるように, 定数 a, b の値を定めよ。

$$x^2+y^2=a(x+y)^2+b(x-y)^2$$

【解答】 $a=\frac{1}{2}, b=\frac{1}{2}$

【解説】

右辺を展開して整理すると, 等式は

$$x^2+y^2=(a+b)x^2+(2a-2b)xy+(a+b)y^2$$

両辺の各項の係数を比較して $a+b=1, 2a-2b=0$

これを解いて $a=\frac{1}{2}, b=\frac{1}{2}$

7. 等式 $(a^2+1)x+(a^2+2a)y-2a+1=0$ が, どんな a の値に対しても成り立つように, x, y の値を定めよ。

【解答】 $x=-1, y=1$

【解説】

等式の左辺を a について整理すると $(x+y)a^2+2(y-1)a+x+1=0$

この等式が a についての恒等式であるための条件は

$$x+y=0, y-1=0, x+1=0$$

第2式と第3式から $y=1, x=-1$

これは, $x+y=0$ を満たす。

したがって $x=-1, y=1$

8. $a:b:c=2:3:4$ のとき $\frac{ab+bc+ca}{a^2+b^2+c^2}$ の値を求めよ。

【解答】 $\frac{26}{29}$

【解説】

$a:b:c=2:3:4$ から $\frac{a}{2}=\frac{b}{3}=\frac{c}{4}$

$\frac{a}{2}=\frac{b}{3}=\frac{c}{4}=k$ とおくと $a=2k, b=3k, c=4k$

よって $\frac{ab+bc+ca}{a^2+b^2+c^2}=\frac{2k\cdot3k+3k\cdot4k+4k\cdot2k}{(2k)^2+(3k)^2+(4k)^2}=\frac{26k^2}{29k^2}=\frac{26}{29}$

9. $a>0, b>0$ のとき, 次の不等式を証明せよ。 $2\sqrt{a}+\sqrt{b}>\sqrt{4a+b}$

【解答】 略

【解説】

$(2\sqrt{a}+\sqrt{b})^2-(\sqrt{4a+b})^2=(4a+4\sqrt{ab}+b)-(4a+b)=4\sqrt{ab}>0$

よって $(2\sqrt{a}+\sqrt{b})^2>(\sqrt{4a+b})^2$

$2\sqrt{a}+\sqrt{b}>0, \sqrt{4a+b}>0$ であるから $2\sqrt{a}+\sqrt{b}>\sqrt{4a+b}$

10. 次の不等式を証明せよ。また, 等号が成り立つのはどのようなときか。

$$x^2+y^2\geq 2(x+y-1)$$

【解答】 証明略, 等号が成り立つのは $x=y=1$ のとき

【解説】

$(x^2+y^2)-2(x+y-1)=(x^2-2x+1)+(y^2-2y+1)=(x-1)^2+(y-1)^2\geq 0$

よって $x^2+y^2\geq 2(x+y-1)$

等号が成り立つのは, $x-1=0$ かつ $y-1=0$, すなわち $x=y=1$ のときである。

11. $a>0, b>0$ のとき, 次の不等式を証明せよ。 $\frac{b}{3a}+\frac{12a}{b}\geq 4$

【解答】 略

【解説】

$a>0, b>0$ のとき, $\frac{b}{3a}>0, \frac{12a}{b}>0$ であるから, (相加平均) \geq (相乗平均) により

$\frac{b}{3a}+\frac{12a}{b}\geq 2\sqrt{\frac{b}{3a}\cdot\frac{12a}{b}}=2\sqrt{4}=4$ よって $\frac{b}{3a}+\frac{12a}{b}\geq 4$

(等号が成り立つのは, $\frac{b}{3a}=\frac{12a}{b}$ すなわち $b=6a$ のときである。)